

# 歴史を活かしたまちづくり 織田公公園



便益施設  
身障者用のトイレも完備(平成30年度)



公園入口  
風情ある赤松と、敷地を囲む織田式塀

小幡地区にある町指定史跡の「織田氏七代の墓」は、江戸時代初期から152年間甘楽郡を治めた、戦国武将織田信長の二男・信雄を初代とした7代信富までの墓所であり、城下町小幡の歴史やまちの成り立ちを知るうえで重要な場所です。

平成27年度時点で墓所周辺はほとんど整備されず、景観的にも煩雑な状況となっていました。周辺の良好な景観の形成と周遊性の向上を図ることを目的として、平成28年度より当該エリアを公園として整備してきました。

織田公公園を紹介します



藩主親族の墓と説明板  
四代・五代藩主親族の墓所へ説明板を設置(令和2年度)



七代の墓御霊屋(初代信雄公)  
墓の保存のため御霊屋を整備(令和元年度)



織田氏七代の墓説明板  
織田氏・崇福寺・七代の略伝を記した説明板を設置(令和元年度)

史跡内の墓石は、いずれも五輪塔で、大名家の墓所らしい風格を見せ、初代から7代の順に並んでいます。令和元年度に整備した四阿からは、小幡富士をはじめとする山並みや城下町小幡を見下ろすことができます。



織田氏七代の墓と四阿



公園林内整備  
周辺の良好な景観形成を目指し、公園入口左側に広がる山林の法面整備を実施(令和2年度)



織田信長公首塚の柁  
織田信長公の首塚がある静岡県富士宮市から平成29年に寄贈された柁



甘楽町役場から車で約5分  
駐車場完備

甘楽町公式ページ  
YouTubeチャンネルで織田公公園を紹介しています。ぜひご覧ください。



今後も公園周辺の景観の配慮に努め、心安らぐ空間づくりに努めていきます。

由緒ある織田氏七代の墓と小幡の町並みを一望できる織田公公園へぜひお越しください。

## 織田公公園の整備事業概要

整備概要：公園整備1.3ha(内芝生広場2,581㎡)  
便益施設1棟、御霊屋7棟、四阿1棟、ベンチ4基、説明板・情報板6基、植栽(桜3本、百日紅3本、山茶花68本、錦木50本、雪柳45本、躑躅8本、赤松14本)

総事業費：約2億5,000万円  
うち約45%の額を国が負担(社会資本整備総合交付金)

事業期間：平成28年度～令和3年度



織田公公園整備完成イメージ

## 織田氏の歴史

織田信長の二男信雄が、元和(二六一五年)、大和松山と上野小幡で五万石の領主となりました。これが、小幡織田氏の始めです。

のちに、三代信昌は祖父信雄の遺命により五万石の領地のうち、松山三万石を叔父織田高長に譲り、父二代信良の遺領分小幡二万石の領主となりました。

その後、明和四(一七六七)年、山県大弐等による幕府転覆の謀議に、八代信邦の家老吉田玄蕃が加担したと目される「明和事件」により、信邦は蟄居を命ぜられ、家督を相続した弟信浮が出羽高田二万石に移封されるまで、八代一五二年間の小幡藩主でした。

建設課都市計画係 ☎(64)8322